

## ツクルバ 2024年7月期 通期決算を発表

売上高は最高値を更新し通期黒字転換、2025年7月期は売上高46%増及び営業利益48%増を見込む

当社は、本日2024年9月12日、2024年7月期 通期決算を発表しました。詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

\*

以下プレスリリース

### ■2024年7月期 通期・第4四半期業績ハイライト

2024年7月期においては、カウカモ事業の規模拡大により、通期売上は5,483百万円（前年比+42%）、売上総利益は2,824百万円（前年比+16%）と、それぞれ過去最高値を更新しました。また、期初方針である全社生産性の向上が順調に進捗し、営業利益は前年比+287百万円の155百万円と通期黒字転換を実現しました。

第4四半期においては、四半期売上高は1,715百万円（前年同期比+23%）、売上総利益は714百万円（前年同期比+3%）で着地しました。また、2025年7月期に向けて営業人員の拡大を実施し、販管費として消費税差額33百万円を計上した結果、営業利益は△19百万円（前年同期比△88百万円）となりました。

（注1）2023年7月期以前は連結会計を行っていないため、前年比較においては単体会計の数値を参照しています。

（注2）2023年11月1日付の不動産企画デザイン事業の譲渡完了を踏まえ、売上高および売上総利益の前年比較はカウカモ事業のみの数値を参照しています。

### ハイライト

2024年7月期においては、期初予想を超過して着地し、通期黒字化を実現しました。2025年7月期においては、カウカモ事業の規模拡大に注力しつつ、2026年7月期以降の継続的成長に向けた先行投資を実施する方針です。

2024年7月期 第4四半期連結業績 (2024年5月～2024年7月)	2025年7月期に向けた営業人員の拡大及び消費税差額の計上により、一時的に減益	
	売上高 <sup>1</sup>	1,715 百万円 (前年同期比 <sup>2</sup> +15%、調整後 <sup>2,3</sup> +23%)
	売上総利益 <sup>1</sup>	714 百万円 (前年同期比 <sup>2</sup> △2%、調整後 <sup>2,3</sup> +3%)
	営業利益	△19 百万円 (前年同期比 △88百万円)
2024年7月期 通期連結業績	全社生産性の向上により、期初予想を超過して着地し、通期黒字化を実現	
	売上高	5,483 百万円 (前期比 <sup>2</sup> +32%、予想比 +5%)
	売上総利益	2,824 百万円 (前期比 <sup>2</sup> +12%、予想比 <sup>4</sup> +1%)
	営業利益	155 百万円 (前期比 <sup>2</sup> +287百万円、予想比 +4%)
2025年7月期 連結業績予想	カウカモ事業の規模拡大に注力しつつ、2026年7月期以降の継続的成長に向けた投資を実施	
	売上高	8,000 百万円 (前期比 +46%)
	売上総利益	3,530 百万円 (前期比 +25%)
	営業利益	230 百万円 (前期比 +48%)

## ■2025年7月期 通期業績予想

2025年7月期の業績予想は、カウカモ事業の規模拡大により、売上高8,000百万円（前期比+46%）、売上総利益3,530百万円（前期比+25%）を見込みます。販管費については、規模拡大に伴う直接費用が増加しつつも、間接費用の抑制を継続した上で、2026年7月期以降の継続的成長に向けた先行投資を実施します。結果、営業利益は230百万円（前期比+48%）を計画しています。

## 2025年7月期 連結業績予想

2025年7月期の連結業績予想は売上高8,000百万円（前期比+46%）、売上総利益3,530百万円（前期比+25%）、営業利益230百万円（前期比+48%）を計画しています。なお、2024年7月期においては、不動産企画デザイン事業の譲渡及び投資有価証券の売却による特別利益計100百万円に加え、法人税等調整額31百万円を計上しましたが、2025年7月期は特別利益・法人税等調整額の計上を見込みません。

### 2025年7月期 連結業績予想

（単位：百万円）

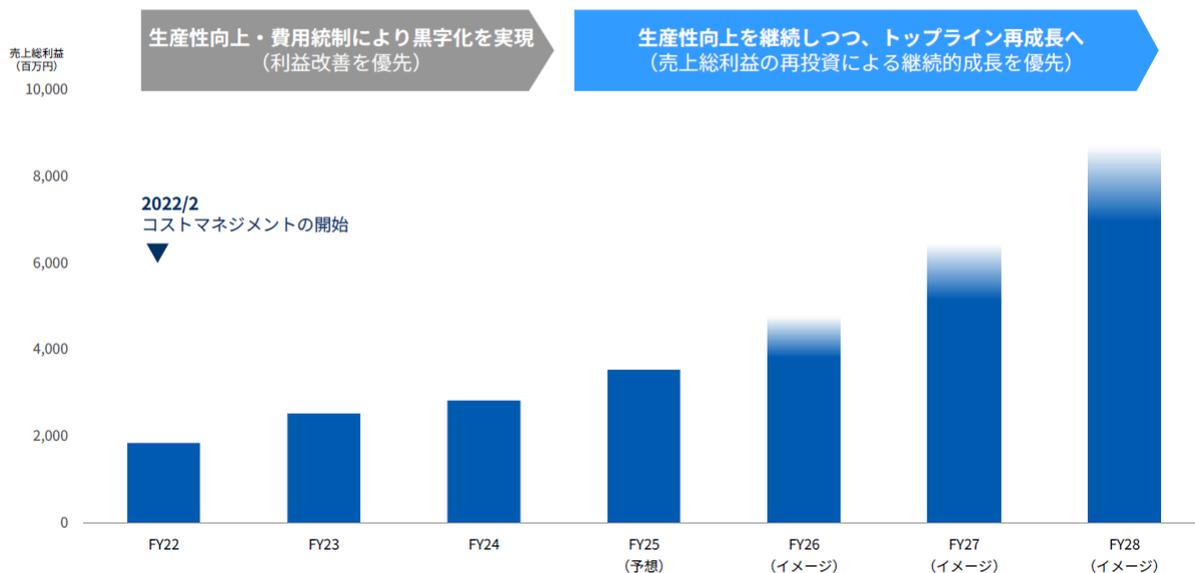
	2025年7月期 連結業績予想	2024年7月期 通期業績	増減率
売上高	8,000	5,483	+46%
売上総利益	3,530	2,824	+25%
営業利益 (うち株式報酬費用)	230 (△72)	155 (△37)	+48%
経常利益	165	114	+45%
親会社株主に 帰属する当期純利益	125	215	△42%

## ■中期的な成長イメージ

当社は、2022年7月期より生産性向上及び費用統制に取り組み、2024年7月期に通期黒字化を実現しました。2025年7月期以降は、引き続き生産性向上に注力しながら、創出利益の再投資を通じた売上総利益の継続的成長を推進します。

## 中期的な成長イメージ\*

当社は、2022年7月期中より費用統制・生産性向上に取り組み、2024年7月期に通期黒字化を実現しました。2025年7月期以降は、引き続き生産性向上に取り組みながら、売上総利益増分の再投資を通じたトップラインの継続的成長を実現します。



### ■詳細のご案内

詳細は、当社IRページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>